

平成17年度（通算第6回） 長崎自然共生フォーラム通常総会開催報告

【総会】

7月30日（土）15:30 から、アルカス SASEBO 中会議室において、出席者47名（うち委任状29名）で会員の過半数を得て総会を開催し、規約により会長が議長となって、議事進行した。

1. 会員状況報告について

正会員	74名	（平成17年4月1日現在）
団体会員	0社	15年度会費未納者35名
		16年度は会費未徴収
		16年度新入会員1名
		団体会員と個人会員の二重登録を廃した。

2. 平成16年度事業報告について

事務局長から、原案のとおり、説明を受けた。（承認）

3. 平成16年度決算報告について

会計担当幹事（小嶋氏）から、原案のとおり、説明を受けた。（承認）

4. 平成16年度監査報告について

監事（鈴木氏）から、適正であった旨、報告を受けた。（承認）

5. 平成17年度事業計画（案）について

ホームページを立ち上げる、研修旅行（京都）を運営委員・幹事会で詰めることとなった。（承認）

6. 平成17年度予算（案）について

講師旅費を予備費から支出することが承認された。（承認）

7. 役員の変更について（報告）

上杉氏と中島氏を顧問とし、田雑氏を副事務局長に新任する。（承認）

8. 日・韓・中国際造園シンポジウムと九州造園研修会について

フォーラムの議案としては趣旨がおかしいのでは？との質疑があり、ニュースレターに記載の通り、バックアップするということで、了解された。人的支援を含む、後援をする。（承認）

9. その他

会長から、会のあり方を鋭意、議論したい旨、発言があった。また運営委員（武政氏）から、ニュースレター投稿に際しての取り決めを行うよう、意見があった。これについて会員・事務局共々ネットワークを活用するよう、会長から要請があった。

【講演】

講師の時間的都合により 14:00 から、前環境省生物多様性企画官 上杉哲郎氏による、「外来生物法の施行について」の懇切丁寧な講演をいただいた。実行委員（田雑氏）の尽力で一般の方々の参加があり、会場はほぼ満席となった（40名近く）。外来種の制限は、輸入制限等もさることながら、まぎれ込み移入があるので難しいのでは？との質疑に対して、日本のやり方は学術的（文献・野外調査の集約）で、諸外国から評価を受けているなどの応答があつて、有意義な講演会であった。なお、講師の送迎は副事務局長（為永氏）にお願いした。

【懇親会】

17:20 頃から恒例の雑魚屋休兵衛で、県造協会長（富永氏）の乾杯で始まった。申込者 14 名のところ出席者 10 名と淋しかったが、途中から名幹事（田雑氏）の計らいでエキストラ・ミッションが加わり、さらに盛り上がった賑やかな懇談となった。また最後まで飲まないで頑張った方もいた。宴もたけなわであったが、長崎組の代表委員（菅氏）独特の万歳三唱で閉会した（19:30 頃終了）。

出席者：菅・川里・小嶋・鈴木・武政・田雑・為永・富永・中村・宮原
（五十音順）